



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 日水製薬株式会社

コード番号 4550 URL <http://www.nissui-pharm.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 佐々 義廣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 後藤 守男

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

TEL 03-5846-5611

平成25年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,505	△3.6	1,356	△5.6	1,719	9.1	1,066	62.8
25年3月期第2四半期	6,748	0.9	1,436	17.3	1,575	17.7	654	10.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	47.60	—
25年3月期第2四半期	29.24	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円銭
26年3月期第2四半期	31,576		28,505		90.3	1,272.77
25年3月期	30,646		27,653		90.2	1,234.68

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 28,505百万円 25年3月期 27,653百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	15.00	—	17.00	32.00
26年3月期	—	17.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	14,100	6.9	3,100	13.7	3,300	4.0	2,300	3.0	102.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	22,547,140 株	25年3月期	22,547,140 株
26年3月期2Q	150,275 株	25年3月期	150,115 株
26年3月期2Q	22,396,981 株	25年3月期2Q	22,397,325 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における国内経済は、金融緩和政策などにより円安・株高が進むとともに、景気回復に向けて明るい兆しも見えてまいりました。しかしながら、中国などの経済成長鈍化など先行きが不透明な状況が続いております。

医薬品業界においては、後発医薬品やスイッチOTC医薬品促進等の医療費抑制施策の基調に変化はありません。また、平成25年1月に最高裁判所の判決により一般用医薬品のネット販売の規制が違法とされたことで、OTC医薬品市場において市場競争が一段と激化するなど厳しい事業環境が続いております。

一方、診断薬業界においては、微生物学的検査分野での保険点数加算による実施料の引き上げにより、穏やかな回復傾向も見えてまいりました。

また、化粧品業界においては、海外メーカーや他業種の市場参入による競争の激化により、低価格商品への需要シフトなどが影響して市場回復が見られず、市場規模は横ばいから微減傾向で推移しております。

このような状況のもと、当第2四半期累計期間の売上高は前年同四半期に比べ2億42百万円(3.6%)減少し、65億5百万円となりました。利益面におきましては、営業利益は前年同四半期に比べ80百万円(5.6%)減少し13億56百万円、経常利益は投資有価証券売却益の発生などにより前年同四半期に比べ1億43百万円(9.1%)増加し17億19百万円、四半期純利益は前年同四半期に比べ4億11百万円(62.8%)増加し10億66百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産合計は前事業年度末に比べ9億30百万円(3.0%)増加し315億76百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べ9億2百万円(5.1%)減少し167億1百万円となりました。これは主に現金及び預金が19億79百万円増加した一方、有価証券が3億1百万円、関係会社預け金が25億62百万円減少したことによります。

固定資産は前事業年度末に比べ18億32百万円(14.1%)増加し148億75百万円となりました。これは主に有形固定資産が1億12百万円減少した一方、投資有価証券が19億49百万円増加したことによります。

当第2四半期会計期間末の負債合計は前事業年度末に比べ77百万円(2.6%)増加し30億70百万円となりました。

流動負債は前事業年度末に比べ27百万円(1.1%)減少し24億93百万円となりました。これは主に未払法人税等が83百万円増加した一方、未払金が1億10百万円減少したことによります。

固定負債は前事業年度末に比べ1億5百万円(22.3%)増加し5億77百万円となりました。これは主にその他(繰延税金負債)が増加したことによります。

当第2四半期会計期間末の純資産合計は前事業年度末に比べ8億52百万円(3.1%)増加し285億5百万円となりました。

この結果、自己資本比率は90.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ15億17百万円(47.6%)増加し、47億4百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、10億10百万円の収入(前年同四半期は6億97百万円の収入)となりました。これは主に税引前四半期純利益17億19百万円に対し、法人税等の支払額5億72百万円があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、8億87百万円の収入(前年同四半期は6億27百万円の支出)となりました。これは主に関係会社預け金の減少による資金の増加21億円、有価証券の売却・償還による収入3億円、投資有価証券の売却・償還による収入4億70百万円に対し、投資有価証券の取得による支出19億57百万円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億81百万円の支出(前年同四半期は3億36百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払額3億79百万円によるものであります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点では平成25年5月9日に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,202	4,182
受取手形及び売掛金	3,083	3,058
有価証券	1,087	786
商品及び製品	1,733	1,661
仕掛品	428	413
原材料及び貯蔵品	572	621
繰延税金資産	169	193
関係会社預け金	8,234	5,672
その他	114	136
貸倒引当金	△23	△23
流動資産合計	17,603	16,701
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,214	2,147
機械装置及び運搬具(純額)	469	423
土地	2,478	2,478
建設仮勘定	—	19
その他(純額)	75	57
有形固定資産合計	5,238	5,125
無形固定資産		
ソフトウェア	47	32
その他	12	12
無形固定資産合計	60	45
投資その他の資産		
投資有価証券	7,560	9,509
その他	209	216
貸倒引当金	△26	△22
投資その他の資産合計	7,743	9,703
固定資産合計	13,042	14,875
資産合計	30,646	31,576

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,140	1,173
未払法人税等	584	668
賞与引当金	200	195
役員賞与引当金	24	26
歩戻引当金	15	14
その他	554	416
流動負債合計	2,520	2,493
固定負債		
長期未払金	85	85
退職給付引当金	3	3
その他	383	488
固定負債合計	472	577
負債合計	2,993	3,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,449	4,449
資本剰余金	5,378	5,378
利益剰余金	17,497	18,182
自己株式	△97	△97
株主資本合計	27,228	27,913
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	425	592
評価・換算差額等合計	425	592
純資産合計	27,653	28,505
負債純資産合計	30,646	31,576

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,748	6,505
売上原価	3,194	3,127
売上総利益	3,554	3,378
販売費及び一般管理費	2,117	2,021
営業利益	1,436	1,356
営業外収益		
受取利息	38	58
受取配当金	80	87
投資有価証券売却益	27	217
投資有価証券償還益	—	47
その他	7	9
営業外収益合計	153	421
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	0	1
デリバティブ評価損	13	56
その他	0	0
営業外費用合計	14	58
経常利益	1,575	1,719
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産処分損	3	0
投資有価証券評価損	328	—
特別損失合計	331	0
税引前四半期純利益	1,243	1,719
法人税、住民税及び事業税	585	655
法人税等調整額	3	△2
法人税等合計	588	653
四半期純利益	654	1,066

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,243	1,719
減価償却費	175	176
引当金の増減額(△は減少)	△0	△8
受取利息及び受取配当金	△118	△146
支払利息	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	△296	29
たな卸資産の増減額(△は増加)	35	38
仕入債務の増減額(△は減少)	△45	32
投資有価証券売却損益(△は益)	△27	△217
デリバティブ評価損益(△は益)	13	56
投資有価証券評価損益(△は益)	328	—
その他	5	△95
小計	1,313	1,583
法人税等の支払額	△616	△572
営業活動によるキャッシュ・フロー	697	1,010
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社預け金の増減額(△は増加)	△500	2,100
有価証券の売却及び償還による収入	100	300
有形固定資産の取得による支出	△133	△166
無形固定資産の取得による支出	—	△1
投資有価証券の売却及び償還による収入	79	470
投資有価証券の取得による支出	△92	△1,957
利息及び配当金の受取額	118	140
固定資産の売却による収入	—	0
関係会社株式の取得による支出	△152	—
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△47	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△627	887
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1	△1
配当金の支払額	△334	△379
自己株式の増減額(△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△336	△381
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△267	1,517
現金及び現金同等物の期首残高	2,352	3,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,085	4,704

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① 前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

a. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				
	臨床診断薬事業	産業検査薬事業	医薬事業	化粧品事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	2,882	1,474	1,871	521	6,748
セグメント利益	794	487	364	148	1,794

b. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,794
全社費用(注)	△358
四半期損益計算書の営業利益	1,436

(注) 全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。

② 当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

a. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				
	臨床診断薬事業	産業検査薬事業	医薬事業	化粧品事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	2,733	1,465	1,801	505	6,505
セグメント利益	745	478	327	155	1,706

b. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,706
全社費用(注)	△349
四半期損益計算書の営業利益	1,356

(注) 全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。

c. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は中期経営計画の事業戦略に沿った今後の事業展開を踏まえ、経営管理の実態を適正に継続表示するため報告形態を検討した結果、報告セグメントを変更することと致しました。

従来の「診断薬事業」を、臨床検査薬を主とした「臨床診断薬事業」、食品衛生検査を主とした「産業検査薬事業」に区分して表示致します。

これにより第1四半期会計期間より「臨床診断薬事業」、「産業検査薬事業」、「医薬事業」および「化粧品事業」の区分に報告セグメントを変更しております。

なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成しており、前第2四半期累計期間の「a. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。